

## 情報公開文書

本研究は、京都大学医生物学研究所医の倫理委員会の承認を受け、京都大学医生物学研究所長の許可を受けて実施しています。また、共同研究機関においても、倫理委員会の承認を受け、共同研究機関長の許可を受けて実施されています。

ご自身の試料・情報を本研究に利用してほしくない、他機関へ提供してほしくないとお考えの方は、以下の連絡窓口までその旨お申し出ください。研究への利用や他機関への提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

1. 研究課題番号	99
2. 研究課題名	COVID-19 回復期患者 IgG 抗体のエピトープ解析
3. 研究責任者	所属：京都大学 医生物学研究所 霊長類モデル分野 職名：准教授 氏名：三浦 智行
4. 共同研究機関の名称及び研究責任者	機関名：金沢大学 職名：医薬保健学総合研究科/附属病院腎臓・リウマチ膠原病内科 特任准教授 氏名：伊藤 清亮
5. 研究期間	承認日～令和8年3月31日
6. 研究の目的・意義	新型コロナウイルスによる COVID-19 は 2020 年初旬より拡大が確認されている新しい感染症である。既にワクチンは開発されているが、既存のワクチン耐性変異に対応するため感染防御に働く抗体が結合する部位の探索・抽出が必要である。新型コロナウイルスが最初に感受性細胞に触れる領域と COVID-19 回復期患者血清との反応性を調べることを今回の研究の目的とする。今回得られる結果によって、感染阻害に大事な部位の特徴を明らかにすることができる。これは、ワクチン開発の上で、重要な基礎データとなる。また、既存ワクチンによってできる抗体が結合する部位との異同も重要である。そのため、既存ワクチン接種後の血清の解析も追加で行う。
7. 研究の方法	京大では、疑似ウイルス感染系と実際のウイルスを用いた感染系により新型コロナウイルスに対する中和力価を測定し、COVID-19 回復患者とワクチン接種者における中和抗体力価の基準値を導き出す。
8. 研究で利用する試料・情報の項目	試料：残余血由来血清 情報：COVID-19 に関する病歴及びワクチン接種歴

9. 試料・情報の取得方法	金沢大学附属病院において、令和2年10月～令和8年3月に、新型コロナウイルスの治療、又はリウマチ・膠原病内科の診療の過程で取得された。
10. 試料・情報の利用目的・利用方法	中和抗体価の測定
11. 試料・情報の提供先の機関に関する情報	機関名：金沢大学 機関長名：和田 隆志 研究責任者：伊藤 清亮 提供する試料：無し 提供する情報：中和抗体価 試料・情報の管理責任者：伊藤 清亮
12. 外国に提供する場合の個人情報保護に関する情報	外国への提供の有無： <input type="checkbox"/> 有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合は以下も記載して下さい。 国名： 当該外国の個人情報保護制度： 提供先が講ずる個人情報保護に関する措置：
13. 試料・情報の提供方法	CD等の電子媒体に記録し、パスワードによる保護をして郵送する。
14. 試料・情報の提供開始予定日	承認日
15. その他	<個人情報の取り扱いについて> 研究の実施にあたっては、試料・情報から、個人を特定できる情報は削除し、代わりに研究用の番号等に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や論文等で発表する場合にも、個人を特定できないようにして公表します。  <研究計画書等の入手又は閲覧> 研究の対象者に該当する方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の方は以下の<研究に関する連絡窓口>までその旨お申し出ください。

16. 連絡窓口	<p>&lt;研究に関する連絡窓口&gt; 研究室：京都大学医生物学研究所 霊長類モデル分野 担当者：三浦 智行 連絡先：(Tel) 075-751-3984 (Email) miura.tomoyuki.2s@kyoto-u.ac.jp</p> <p>&lt;京都大学医生物学研究所の連絡窓口&gt; 担当掛：京都大学医生物学研究所総務掛 連絡先：(Tel) 075-751-3802 (Email) 330soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp</p>
----------	--